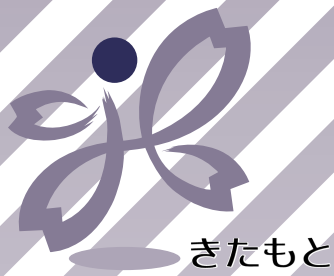


こんにちは



# 議会です!

## きたもと議会だより



### 第30回北本市防災訓練(中丸小学校)

地域住民の防災意識の高揚と自主防災組織・体制の充実強化を図ることによって、災害発生時における被害を軽減することを目的として防災訓練を実施しています。



北本の行事シリーズ

## 主な内容

- 9月定例会…
- 一般質問…
- 委員長報告…
- 提出案件の結果等…

## 会期日程

- 8月25日(火) 本会議(開会)
- 8月26日(水) 議案調査日
- 8月27日(木) 議案調査日
- 8月28日(金) 議案調査日
- 9月1日(火) 本会議(総括質疑)
- 9月2日(水) 本会議(委員会付託)
- 9月3日(木) 委員会(総務文教・保健福祉)
- 9月4日(金) 委員会(建設経済)
- 9月7日(月) 委員会(総務文教・保健福祉)
- 9月8日(火) 委員会(保健福祉・建設経済)
- 9月10日(木) 本会議(一般質問)
- 9月11日(金) 本会議(一般質問)
- 9月14日(月) 本会議(一般質問)
- 9月15日(火) 本会議(一般質問)
- 委員会(総務文教)
- 委員会(保健福祉)
- 9月17日(木) 本会議(閉会)

# No 70

平成21年(2009)11月1日発行  
 編集 議会だより編集委員会  
 発行 北本市議会  
 北本市本町1-111  
 TEL 048-591-1111  
 FAX 048-591-6335  
[www.city.kitamoto.saitama.jp](http://www.city.kitamoto.saitama.jp)

# 9月定例会

## 平成20年度 一般会計 特別会計 歳入歳出決算を認定

8月25日から9月17日までの24日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案28件（継続議案1件含む）、議員提出議案2件、請願2件を慎重に審議しました。

特に、北本市障害福祉サービス事業所設置及び管理条例の一部改正については、記名投票の結果、原案可決となりました。

また、平成21年3月定例会より継続審査となっていた自治基本条例の制定については、修正可決となりました。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第60号 平成20年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について 「総括質疑より」

Q、平成20年度も県内トップクラスの市税徴収率が維持できたか

A、市税は、歳入の根幹をなす貴重な財源であり、また、税負担の公平性の観点から徴収率の向上に努めてきました。平成20年度は、納付方法について重点的に取組み、コンビニ収納やマルチペイメント

ネットワーク収納（ペイジー）に加え、全国の自治体に先駆け、クレジットカードによる収納システムをスタートさせ、納税者にとって、24時間いつでもどこからでも納付ができる、現在想定されるすべての納付方法を選択できる日本一の納付環境の構築を図ることによって、徴収率の一層の向上に努めました。

平成20年度の市税全体の徴収率については、93.9%で前年度と比較すると0.4ポイントの減少となりました。税は前年度の所得に基づき課税されるため、昨年9月の世界同時不況の影響による企業収益の悪化に伴うリストラ

や所得減少等によるものが減少の要因と考えられます。

しかし、県内他市と比較すると、いまだ高い徴収率を維持しており、平成19年度の県民税の徴収率が県下40市中、3年連続第1位の成果を収め、埼玉県知事から感謝状が授与されました。また、平成20年度についても、4年連続第1位の成績を収めたとの報告を受けました。

厳しい経済状況ではありませんが、税の公平性の観点と財源の確保を図るため、今後についても、徴収率の一層の向上に努めていきたいと考えています。



### 記名投票の結果（議席順）

「議案第72号」北本市障害福祉サービス事業所設置及び管理条例の一部改正について  
（あすなろ学園を条例の対象施設として追加するもの）

「議提第7号」新駅設置促進を求める決議

「賛成者」13名

串田英夫、桂 祐司、  
現王園孝明、岸 昭二、  
島野和夫、福島忠夫、  
黒澤健一、阪井栄見子、  
加藤勝明、横山 功、  
伊藤堅治、三宮幸雄、  
大澤芳秋

「賛成者」18名

中村洋子、湯澤清訓、  
串田英夫、桂 祐司、  
中山敬弘、現王園孝明、  
岸 昭二、島野和夫、  
福島忠夫、黒澤健一、  
工藤日出夫、阪井栄見子、  
加藤勝明、横山 功、  
伊藤堅治、吉住武雄、  
三宮幸雄、大澤芳秋  
（棄権者1名）

「反対者」5名

中村洋子、湯澤清訓、  
中山敬弘、工藤日出夫、  
金子眞理子  
（棄権者1名）

【記名投票とは・・・】

重要な案件に対して、個々の議員の政治的責任を明確にする必要のある場合に行使される採決方法です。

### 総括質疑通告者

横山 功（平成会）  
工藤日出夫（緑風政策）  
桂 祐司（市民福祉）  
島野 和夫（公明党）  
湯澤 清訓（共産党）

### 【紹介】

今定例会において同意されました教育委員会委員（再任）を紹介します。

住所 さいたま市北区土呂町  
1丁目60番地16  
氏名 小尾 富士雄氏

通告順に掲載

# 市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ質問事項を

通告し、執行部の答弁を求めます。

今定例会では、17人の議員から70件128項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

## 北本駅西口駅前 広場の整備

西口駅前広場は供用から約30年が経過し、歩道や照明灯などの老朽化が目立つようになり、広場の改修により、駅周辺を活性化することが重要と考えました。平成21年度より電線地中

化工事に着手しており、平成22年度には広場の改修工事を予定しています。それにより、歩行空間の拡大やバリアフリー化が図られます。さらに、多目的広場を整備することにより市民が集う広場となり、周辺地域の活性化が期待されることです。また、ロータリーと多目的広場の植栽帯は、北本市の象徴である緑や自然を生かしたシンボルとす

べく計画しています。今後、駅前の人々の滞留を促がし、にぎわいづくりからも、木陰をつくる樹木の植栽は本数、樹種など考慮し、皆様のご理解をいただき行っていきたいと考えています。



現在の北本駅西口駅前

## 認定こども園 の導入

認定こども園制度が導入された背景には、親の就業の有無で利用施設が限定される。少子化が進む中、幼稚園、保育所別々では、こどもの育ちにとって大切なことも集団が小規模化し、

運営も非効率である。保育園待機児童が存在する一方で幼稚園利用児童は減少となっている等の状況があります。

そして、その対応として、幼稚園、保育所の教育及び保育の一体的提供と併せ、地域における子育て支援機能を備えるものを認定こども園として都道府県知事が認可するものです。本市で新設が予定されて

いる認定こども園は幼保連携型とされるもので幼稚園に保育所と地域子育て支援機能を加え、保育所部分は認可保育所となるものです。認定こども園が開設されることにより、保護者が保育内容により選択できる保育所が増加し、多様化する保育ニーズに対応したサービスの提供が可能となり、保育サービスの向上が期待できるものと考えています。

## 9月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

現王園孝昭（緑風政策）

・保育所の統廃合  
・西口駅前広場整備  
・地域の魅力を高めるための進展と取組み  
他1件

大澤芳秋（緑風政策）

・平成11年の市税横領事件後、市税徴収システムはどのように改善されたか  
・久保特定土地地区画整理事業地内の未完成道路を住民に使用させてはどうか  
・市の施設における防犯カメラの設置状況  
他1件

中村洋子（共産党）

・平和を考えるつどいが終わって今後につなぐ事  
・敬老の日を前にして敬老の精神  
・大規模学童保育所の解消  
他2件

桂 祐司（市民福祉）

・屋外広告物撤去と違反者への対処  
・北本市庁舎の「地震による倒壊危険度調査の検討」議会議決後の対応  
・学校における振り込め詐欺被害防止教育  
他3件

## 雑木林

問1 雑木林の保全と緑地整備の将来ビジョンについて

答1 本市の雑木林で、特に高崎線沿線に連なる雑木林の公有地化は、市民はもとより、高崎線を利用する

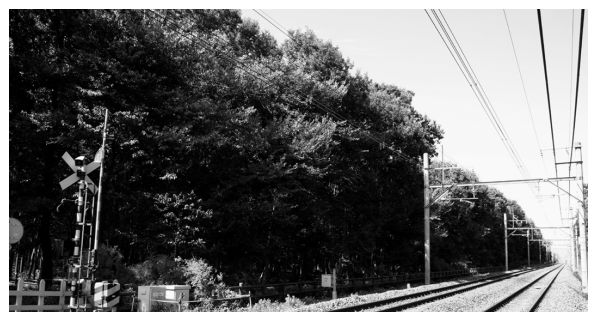
皆様からも広く認知され、本市の特出すべき財産と評価されています。

昭和59年以降の暫定逆線引き地区は、その大部分が市街化区域に編入されることを前提に調整中ですので、今後市街化の発展による開発が高まることも考えられ、民有地である雑木林が減少傾向に向かうのではという懸念が出てきます。

市街化区域の雑木林保存

については、中央緑地に隣

接する雑木林を買収することで、電車から見ることもできる雑木林にポリウムを持たせることができることを考え今議会に提案しました。北本中央緑地を中心として周辺の雑木林の連続性を保つことは、より一層緑地空間の厚みを増し、市民の皆様の憩いの空間となるとともに生物の環境にも良く、当面こうした方向で進めて



北本中央緑地

いきたいと考えています。

## デマンドバス

問1 特に高齢者に気を配ったところは

答1 利用者登録用紙は、郵送やファックスでも申し込みができます。予約は電話予約としてオペレータを配置し、高齢者の皆様にも

簡単に予約できるようにしています。追加の利用者登録も随時できるよう配慮しています。自宅から共通乗降場といったようなドア・ツー・ドアを売りものにしているので離れたバス停まで歩く必要はありません。

問2 帰りの足の確保の不便が予想されるが、タクシーとの連携を図っては

答2 帰りの時間が決まっていれば、予約をしていた

だければデマンドバスの利用が可能です。タクシーとの連携については今後の検討課題と考えています。



テスト運行中のデマンドバス

問3 試行期間終了後、本運行へのスケジュールは

答3 テスト運行を通して、多くの市民の皆さんにご利用いただき、ご意見をお聞きして、本市の実情に合った公共交通機関を検討したいと考えています。

また、平成22年度は引き続き国の補助金を受けながら、実証運行を行い、運行時間、車両、台数などの検証を行い、平成23年度から本運行としていきたいと考えています。

加藤勝明(平成会)

- ・市政について
- ・本市のエコ対策
- ・中丸公民館敷地内の芝生広場(多目的広場)と空き地の利用

串田英夫(市民福祉)

- ・本市で子ども議会を
- ・買い物の空白地をどのように考えるか
- ・「埼玉にコウノトリを」という夢を現実に。未来の子ども達へプレゼントを

他1件

工藤日出夫(緑風政策)

- ・職員の能力評価制度導入後の人事運用
- ・農業経営構造対策事業
- ・学校選択制

伊藤堅治(平成会)

- ・圏央道の桶川北本IC開通に伴うイベントの開催及び交通安全対策
- ・新型インフルエンザの対策
- ・桜堤のトイレ整備の進捗状況

他3件

金子真理子(緑風政策)

- ・認定こども園と保育所政策のバランス
- ・新型インフルエンザ対策
- ・まちづくり交付金は市政にとって有効か

## グリコ工場進出

問1 工場進出を地元の商工業の活性化のために結び付けたいが、市の考えは

答1 江崎グリコ新工場は、東日本の一大拠点工場で、建設に伴う地元雇用も十分考えられ相当規模の経済波

及効果が期待されます。商工会長から「市内業者受注機会のお願いに付いて」という要望書が市長宛に提出されています。市としても

地元業者の育成のためバツクアップを行なっていきたいと考えており、江崎グリコに積極的に要望していきたいと考えています。

問2 見込まれる税収と行政負担について

答2 固定資産税と法人市

民税、市内居住従業員の市民税の増が挙げられます。行政負担としては北本市企業誘致促進条例に規定されている事業開始の翌年度より5年間の固定資産税相当額を交付する施設設置奨励金、事業開始から1年以上継続勤務した従業員を採用している事業所に交付する雇用促進奨励金が挙げられます。また、基盤整備として合計約2億2,400万

円を支出する予定です。

問3 中心市街地の活性化の方策として空き店舗へのグリコ製品専門店の出店を要請してはどうか

答3 江崎グリコに対し検討を申し入れています。工場建設の目途が立った段階で積極的に対応を図っていきたく考えています。

## 普通教室の空調機設置計画

問1 学校関係の空調機の整備は、コンピュータールーム・図書室・職員室と整備が進んでいるが、猛暑の中での学校教室の利用状況について

答1 平成17年度より普通

教室では「扇風機」を4台ずつ設置し、活用してきました。気温や湿度の高い日においても換気や風通しの改善が図られたものと考えています。

問2 今後のエアコン配置の予定について

答2 空調機の設置については耐震補強及び大規模改修工事と合わせて実施することにより、高い補助率で

国庫補助が受けられること

から、現在進めている学校耐震化工事計画に沿って行う予定です。中学校の設置計画は、来年度に北本中学校、西中学校に設置し、その後宮内中学校、東中学校に設置する予定です。

小学校については、中学校4校に配置した後に使用状況を検証して改めて検討していく予定です。



北本中学校の耐震工事の様子

- 三宮幸雄（緑風政策）
  - 保育所の統廃合
  - 100年に一度の大発見、デーノタメ遺跡（漆塗り土器他）
  - 水辺プラザの進捗状況
- 他1件

- 福島忠夫（平成会）
  - 環境について
  - 人事行政
  - 江崎グリコの企業誘致
- 他1件

- 阪井栄見子（公明党）
  - 雑木林の保存と緑地整備
  - 障害者の「福祉タクシー券配布事業」の対応
  - 北本市の幼児教育ビジョンの展開
- 他1件

- 吉住武雄（緑風政策）
- 総合公園野球場の利用
- 人事について
- 学力テストの実態とその活用

- 岸 昭二（公明党）
  - デマンドバステスト運行事業
  - 防犯について
  - 新型インフルエンザの対応
- 他1件

- 中山敬弘（緑風政策）
  - 「日本一の読書のまち」北本を目指す
  - 「金のなる木」としての仮称みなみ北本駅早期実現
  - 過去30年間の一般質問
- 他2件

## 平成20年度の政務調査費を公表します

政務調査費は議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会における会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して交付されるもので、会派の所属議員数に月額20,000円をかけた金額が交付されます。

政務調査費の交付及び使途基準については、「北本市議会政務調査費の交付に関する条例」及び「北本市議会政務調査費の交付に関する条例施行規則」に定められています。

各会派の平成20年度政務調査費の収支状況は下記のとおりです。

### 平成20年度政務調査費収支報告一覧

項目	会派名 緑風政策 フォーラム	平成会	公明党	日本共産党
人数	9人	6人	3人	2人
交付額	2,160,000	1,440,000	720,000	480,000
研究研修費	0	105,000	219,415	26,250
調査旅費	1,416,701	703,947	158,770	257,474
資料作成費	0	0	148,978	0
資料購入費	0	0	36,580	90,555
広報費	749,965	632,130	175,801	109,460
広聴費	2,000	0	0	0
人件費	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0
その他の経費	0	0	0	0
合計	2,168,666	1,441,077	739,544	483,739

実績額が交付額を上回る場合は、会派の負担になります。

## コウノトリ

問1 埼玉にコウノトリを  
という夢を現実にできない  
か  
答1 コウノトリは、水辺

に生息する大型の鳥類です。国際自然保護連合のレッドリストで絶滅危惧種に指定され、日本では国の特別天然記念物になっています。江戸時代は全国各地に生息していたと見られています。明治以降に急減し、昭和46年に絶滅しました。主な原因としては、狩猟や河

川や湿地の開発などによる生息地の消失、農薬の使用による採餌条件の悪化などが挙げられます。本市には「北本鳥獣保護区」があります。このため鳥獣類にとっては、生息しやすい環境となっています。コウノトリの行動範囲は広く、飼育に向けては、コ

ウノトリの生態や生息環境等の調査・研究が必要です。また、荒川周辺に位置する自治体との協力体制や国・県からの支援・協力なども必要となります。今後国土交通省荒川上流河川事務所で開催する勉強会に参加し研究したいと考えます。

## 傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

11月30日(月)  
開会の予定です。

- ・黒澤健一（平成会）
- ・衆議院議員総選挙に対する市長の見解
- ・住民参加・協働のまちづくり
- ・「自主参加型国内排出量取引制度」
- ・湯澤清訓（共産党）
- ・プレミアム付商品券の発行は、地域の産業振興にどう生かされたか
- ・デマンドバス運行の産業振興、まちづくりの観点からの位置づけ
- ・猛暑の中での学校教室の利用状況

他2件

## 総務文教

Q．中学校スポーツエキスパート活用事業補助金について

A．市内の中学校で、教職員の減少や高齢化により、部活動を専門的に指導する教職員が不足している状況です。このため、県補助金を活用して、市内4中学校に基本的には7人ずつ合計28人の外部指導者を依頼しています。

部活動の活性化の面から、吹奏楽や軽音楽等の文化部にも指導者を依頼していますが、県の補助対象は、運動部活動の指導者ということになっています。また、人選については、各学校長からの推薦に基づき教育委員会で決定しています。指導時間については、1回2時間程度で2,000円の謝礼を支出しています。

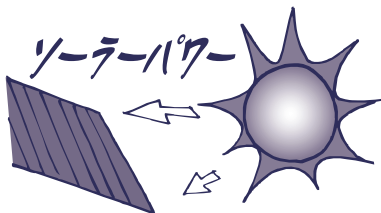
指導を受けている部活動については、熱心な指導により部活動が活性化しており、県大会の上位、関東・全国大会出場という成績を残している運動部もあり、非常に有効な支援と考えています。



Q．太陽光発電システムの設置について

A．国の緊急経済対策費を活用して、市内小中学校12校のうち、小学校5校と中学校1校に太陽光発電システムを設置いたします。これらの学校は、いずれも耐震補強を実施済、あるいは新耐震基準以降に建てられた学校で耐震補強等の大規模工事を必要としない学校です。

残りの学校については、今後、耐震補強工事や大規模改修工事と併せて太陽光発電システムを整備していく予定です。



## 保健福祉

Q．子ども医療費の助成対象児童の通院分を中学校修了まで拡大することにかかる影響額と国・県の財政負担について

A．支給額は1か月150万円から160万円程度、年間で約1,900万円程度を見込んでいます。中学生は病気等の罹患率が小学生よりも下がると考えました。財政負担は、国・県ともに拡大分にかかる補助はありませんが、県からは、0歳から6歳までの就学前の乳幼児を対象とした補助金を受けています。

平成20年度実績では、子ども医療費の支出額は約1億4,000万円ですが、県からの補助金は2,200万円程度ありました。



## 建設経済

Q．駅前駐車場使用料の費用と効果について

A．20年度の駅前駐車場管理業務では、委託料・機械設備メンテナンスが約300万円。西口機械リース料・パークロックが約230万円。東口ゲート式再リース料が約20万円の支払いです。

費用対効果につきましては約1,000万円の黒字という状況です。

Q．圏央道の整備に関連して、水道、下水道、ガスの工事をそれぞれ別々に行うということだが、一緒にやるのが合理的ではないのか

A．水道、下水道、ガスは、同じ地下埋設施設ですが、水道とガス管は、基本的に圧力を掛けて流していますので、管の高低差にバラつきがあっても支障となりませんが、下水道管は自然流下ですので、高低差を計算しながら工事を進めていく必要があります。また、維持管理の関係から埋設位置を分ける必要もあります。これらの違いなどから、同時に工事を行うことは難しいものと考えています。

# 主な提出案件の結果一覧

議案名	議決結果	緑風政策フォーラム	平成会	公明党	共産党	市民福祉の会
北本市自治基本条例の制定について(平成21年3月定例会より継続審査)	修正可決					
平成20年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決				×	
平成20年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可決				×	
平成20年度北本市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	可決					
平成20年度北本都市計画事業北本駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決					
平成20年度北本市北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決				×	
平成20年度北本市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決					
平成20年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決					
平成20年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決					
北本市執行機関の附属機関に関する条例及び北本市総合計画審議会条例の一部改正について	可決					
北本市手数料条例の一部改正について	可決					
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決					
北本市障害福祉サービス事業所設置及び管理条例の一部改正について	可決				×	
北本市在宅重度心身障害者手当支給条例の一部改正について	可決					
北本市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正について	可決					
北本市国民健康保険条例の一部改正について	可決					
北本都市計画事業北本駅東口土地区画整理事業施行規程の廃止について	可決					
市道の路線の廃止について	可決					
教育委員会委員の任命について	同意					
平成21年度北本市一般会計補正予算(第4号)及び(第5号)	可決					
平成21年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決					
議員提出議案						
「非核日本宣言」を求める意見書	可決					
新駅設置促進を求める決議	可決					
請願						
「新駅設置促進決議」を求める請願	採択					
願						
深井保育所閉所の見直しを求める請願	採択					

\* 上記以外に6件の議案審議がりましたが、いずれも挙手全員により原案のとおり可決しています。

各会派の議員数 緑風政策【8人】、平成会【5人】、公明党【3人】、共産党【2人】、市民福祉の会【2人】

は議案に対して賛成の会派  
 ×は議案に対して反対の会派  
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

委員	副委員長	委員	議会だより編集委員
中村洋子	岸昭二	桂祐司	
金子眞理子	黒澤健一	金	

**編集後記**

今議会で「北本市自治基本条例」が可決しました。3月、総務文教常任委員会へ付託後、今議会まで十分に審査され、最終的には原案に近い形で修正可決となりました。

市民の代表である懇話会の皆様を始め多くの方々に長い時間携わっていただき、大変にお世話になりました。

次は、地方議会改革という視点も出てきます。議会基本条例の制定もさることながら、まず身近な、市民に読みやすい議会だより」の充実が改革の一步と肝に銘じ進めて参りたいと思います。(昭)